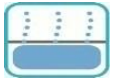


在宅酸素療法を受けられる方へ

患者氏名：

経過 日付	入院日	2日目	3日目	4日目～	退院予定日
	/	/	/	/	/
ゴール (到達目標)	病名が言える呼吸リハビリ入院の目的が言える。	酸素の必要性がわかり指示された酸素量を吸うことができる。	呼吸の仕組みがわかる。 酸素濃縮器・酸素ボンベの使用方法がわかり使用することができる。	低酸素血症をきたす日常生活の動作がわかり回避する動作がとれる。 間質性肺炎の急性増悪についてわかる。 呼吸困難時、落ち着いて呼吸を整えるための対処ができる。 自宅環境での注意点がわかる。	間質性肺炎が理解できる。 運動療法の必要性が理解し日常生活へ運動を組み込む事ができる。 酸素濃縮器・酸素ボンベの使用ができる。
検査	肺機能検査、心臓超音波検査、心電図、6分間歩行、血液検査、胸部レントゲン、胸部CTの検査があります。	1日目に肺機能検査、心臓超音波検査をされていない方は、肺機能検査と心臓超音波検査があります。		主治医が必要と判断し指示された検査がある場合はお伝えします。 	
治療 処置	内服中の薬を確認させていただきます。ほとんどの場合、持参薬を引き続き内服していただきます。 中止薬があればお伝えします。 酸素投与が必要な方は、在宅酸素療法が導入となります。	酸素療法されている方は、酸素濃縮器、酸素ボンベが帝人より病棟に届きます。 			在宅酸素療法を行っている方は、退院後に帝人の担当者が自宅へ伺います。 
観察	血圧、体温、脈拍、SpO2 身長・体重 	血圧、体温、脈拍、SpO2	血圧、体温、脈拍、SpO2	血圧、体温、脈拍、SpO2	血圧、体温、脈拍、SpO2
理学療法			筋力の測定・体力の確認を行います。 トレーニングマシンの設定を行います。 自主トレーニング方法の説明を行います。	前日設定したトレーニングマシンでの筋力・体力強化を開始します。 自主トレーニングの実施状況を確認します。	退院後もリハビリを継続してください。
作業療法			日常生活動作で呼吸困難や息切れを誘発しやすい動作を紹介します。 食事・洗面（歯磨きや洗顔）・排泄・着替えの動作について、息切れを軽減する楽な動作をアドバイスします。	入浴動作について、息切れを軽減する楽な動作をアドバイスします。 家事や外出、余暇活動の拡大へ向けた支援を行います。 家屋状況を確認して、必要に応じて福祉用具の紹介をします。	
安静度	制限はありません。病棟外に出るときは、看護師に声をかけて下さい。				
食事	並食が出ている方は特に制限はありません。 				
排泄	病棟もしくは病室のトイレをご使用ください。 				
清潔	病棟もしくは病室のシャワーをご使用ください。 				
説明	看護師より入院生活についてのオリエンテーションがあります。 主治医から入院・治療・検査、説明があります。 入院診療計画書などの必要な書類をお渡ししますので署名が終わったら看護師へ提出してください。	看護師より呼吸器のしくみ、酸素療法についてのパンフレットに沿ってご説明させていただきます。  酸素療法をされている方は、在宅酸素療法が導入となります。在宅酸素の使い方の説明を行わせていただきます。	特定疾患や介護保険を使用している方は、ソーシャルワーカーより福祉制度についての説明があります。	必要な方は、退院前に医師・看護師・理学療法士・作業療法士、ご家族を含めて退院後の生活についての話し合いがあります。 	退院日は、患者様により異なります。 看護師より次回受診日などの説明があります。 退院後、息切れの増悪・咳や痰の増加・発熱・むくみ・体重増加などがありましたら受診してください。 

※この表は入院～退院までのプランを一覧にしたものです。※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。